



○研究テーマ
主体的な学びをととした確かな学力の向上をめざして

小学校

各校の実態に合わせた講師を招聘。2校とも「対話」を軸に学び合う授業づくりと自ら学ぶ力、思考力の育成をめざす。
川村小学校（河野順子教授、梅澤秋久教授）
三保小学校（山本金五氏、佐藤幸江教授）

中学校

「社会に生かせる表現力の育成」をテーマに、よりよい生き方の追求をめざす。RPDCA サイクルに基づいたネクストプランを生かして授業づくり、授業改善につなげる。
山北中学校（矢野英明教授）

山北こども研究会（幼稚園2園、こども園、保育園）

県の委託を受け健康・体力づくり実践研究に取り組み2年目となり、体を動かすこととおして「非認知能力」の育成をめざす。幼児期の終わりまで育ってほしい10の姿について、小・中学校との共通理解をさらに進めるため、4園による研究発表会を実施。



第1回学びづくり推進委員会
これまでの振り返り、積み上げの確認と、今年度の取組について

第2回学びづくり推進委員会
子どもたちを15年間切れ間なく見とるための、「つなぐ」を具現化



* 学びづくり研究 平成 31 年度
・より効果的な交流とみんなで育てる意識を高める授業交流（4園小中に高を含めて）
・見とる力のさらなる育成、視点の明確化（子どもの非認知能力を含めて）

* 学びづくり研究 平成 30 年度
・山北町の子どもをみんなで育てる意識 ・研究テーマ共有の実感
・見とる力をメインとした相互理解（異校種間交流）

* 学びづくり研究 平成 29 年度
・幼・保・こ・小・中の連携による学びの連続性
・授業について協議する場を重視→授業力を鍛える→見とる力

* 学びづくり研究 平成 28 年度
・推進委員会の発足（幼・保・こ・小・中） ・系統性を生かした校内研究
・異校種間交流授業参観等の実施（授業をとおしての連携）

